AVE-2000Plus導入マニュアル (PC接続)

目次

- 1. はじめに
- 2. 血圧計と周辺機器の接続
- 3. 起動と測定手順
- 4. ID登録
- 5. 絞り込み検索
- 6. 測定とレポート印刷
- 7. レポート印刷例
- 8. レポート印刷例(受診者用、医師用)の見方
- 9. レシートプリンタのご利用方法





1. はじめに

本機(パセーサ)は血圧と血管(年齢)指標を簡便に測定できる新しい機器です。データ管理ソフト(PASESAIII)は3万人×500 回測定分のデータ管理が可能です。タブレットPCやプリンタ、 バーコードリーダーと組み合わせることで、効率的な検査が可能 となります。主に病院・クリニック、調剤薬局などの医療施設や 介護施設などでのご利用に適しています。

*本件についてのご質問、ご要望は下記へお問合せください。 株式会社志成データム お客様サポート係

TEL 0120-266730 (フリーダイヤル)

e-mail <u>info@shisei-d.co.jp</u>

〒194-0215 町田市小山ヶ丘2-2-5

まちだテクノパーク内センタービル4F

2. 血圧計と周辺機器の接続



の連続操作や通電中の配線抜き差しはしないでください。

データ管理ソフト(PASESAII)のインストール

志成データムHPから*データ管理ソフト「PASESAⅢ」をダウンロードします。 <u>https://shisei-d.co.jp/assets/zip/medical/ave-2000plus/v4c_pasesa_cd_master.zip</u> インストール手順はフォルダー内のインストールマニュアルを参照してください。



- 3. 起動と測定手順
- PC、プリンタの電源をONします。
 (電源SWの位置は前ページを参照)
- ② 約1~2分でPCの画面が右のイラストのように変わります。



- ③ 血圧計の電源をONするとPCの画面が 変わり、測定可能な状態になります。
- 注1)表示が変わらない時はPCを再起動 してください。



注2)アプリの終了は「ALT」+「F4」を同時に押してください。





6. 測定とレポート印刷

- 1) 腕を血圧計に挿入します。 正しい姿勢で息を整えてください。
- 2)開始ボタン(青)を押すと測定が 始まります。測定結果は約60~90秒 後に血圧計本体のLCDに表示されます。
- 3) 数秒後にPCの画面にも結果が転送され、 血管年齢と共に結果が表示されます。
- 4)印刷ボタンを押すと結果レポート
 が印刷されます。
 (受診者用、医師用)

*右下のホーム(取消)」タッチで最初の画面に戻ります。





患者用 医師用 *

7. レポート印刷例(受診者用、医師用)





8. レポート印刷例(受診者用、医師用)の見方



脈波指標AVI,APIのカットオフ値(参考)

・AVI:28 心不全 API:31心血管イベント

・AVI:29 API:31 不顕性(無症状)動脈硬化

(循環器内科、90(6):676-681、2021:横浜市大) (J Atheroscler Thromb. 2018 Sep 1; 25(9):792-798 長崎大) 9. レシートプリンタのご利用方法

◆推奨プリンタのメーカー、品番:EPSON TM302-613W

注)ご使用できる用紙は80mm幅に限られます。



◆データ管理ソフト(PASESAⅢ)のURL:<u>https://www.shisei-</u> <u>d.co.jp/assets/zip/medical/ave-2000plus/receipt2023v5b_2023-06-21.zip</u>

注)A4レポート印刷用のアプリとは別に追加でインストールが必要です。アイコンが2個デスクトップ上に表示されますので、使用するプリンタによって、所要のアイコンをダブルクリックしてお使いください。なお、過去にA4用で測定した測定結果もレシートプリンタで出力が可能です。逆もまた同様です。

◆印刷例

受診者用印刷出力



医師用印刷出力

